

川西VOICE

<https://www.city.kawanishi.hyogo.jp/gikai/>

川西市議会

検索



川西市議会ホームページ

No.252



▲「保育園で書き初め」

撮影者：川西明峰高校 新田 碧海さん

12月定例会号

- 常任委員会の審査報告
- 審議結果等一覧
- 一般質問で19人が登壇し市政を問う



市花りんどう

川西市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定案など審議

令和7年第5回定例会市議会は、11月26日から12月19日までの24日間の会期で開催されました。

招集日には、こども誰でも通園制度の実施に伴う条例案など、24議案が市長から提出されました。

このうち、人事院勧告への対応や特別職の給料月額改定などを含む、一般職の職員の給与に関する条例等の改正案に対して、市議会議員の議員報酬および期末手当ならびに議員選出監査委員の報酬の引き上げについて修正案が提出されました。これらの議案については、慎重な審議により、修正案は賛成者少数により否決され、原案は賛成者多数で可決されました。

さらに、12月16日には、食料品の物価高騰に対する全市民を対象とした商品券等の配布や、原油等高騰対策中小企業支援金の拡充などを行うための一般会計補正予算案が追加議案として提出されました。(3面から5面参照)

これらの議案を含め、市長提出議案については、いずれの議案も慎重に審

査した上で、全て原案のとおり可決しています。(6・7面参照)

また、定例会最終日には、議員選出監査委員を廃止する「川西市監査委員条例の一部を改正する条例」や、次回の一般選挙後に現在の議員定数を24人から22人に削減する「川西市議会基本条例の一部を改正する条例」が議員提出議案として提出されました。両議案ともに賛成・反対それぞれの立場の議員が討論に立ち、活発に議論が交わされ、まず、「川西市監査委員条例の一部を改正する条例」については、賛成者多数で可決され、議員選出監査委員の廃止は、10月に実施予定の一般選挙後から適用されます。

一方、「川西市議会基本条例の一部を改正する条例」については、賛成者少数で否決されています。

このほか、一般質問を3日間にとって行い、19人の議員が登壇し、市政全般にわたりさまざまな議論が繰り広げられました。(8から11面参照)

議会の活動状況

11月

- 28日○第5回市議会定例会(第2日)
- 議員協議会
- 飛行場対策周辺整備調査特別委員会
- 市立病院改革調査特別委員会
- 中心市街地・新名神周辺整備調査特別委員会

- 3日○第5回市議会定例会(第3日)
- 4日○第5回市議会定例会(第4日)
- 5日○第5回市議会定例会(第5日)
- 8日○総務生活常任委員会
- 9日○厚生文教常任委員会
- 厚生文教常任委員協議会
- 10日○建設常任委員会
- 15日○議会運営委員会

○厚生文教常任委員会

- 19日○第5回市議会定例会(最終日)
- 議会運営委員会

調査(大分県豊後高田市)

- 28日○市立病院改革調査特別委員会所管事務調査(社会医療法人製鉄記念八幡病院)

1月

- 15日○広報委員会
- 26日○中心市街地・新名神周辺整備調査特別委員会所管事務調査(福岡県行橋市)

2月

- 3日○議員協議会
- 広報委員会

12月

- 1日○議会運営委員会

- 16日○第5回市議会定例会(第6日)
- 18日○総務生活常任委員会

- 27日○中心市街地・新名神周辺整備調査特別委員会所管事務

常任 委員会 報告

総務生活常任委員会

委員 (委員長 〓 〓 副委員長 〓 〓)

〓 中井 成郷 〓 榮 奈津子
 松隈 紀文 加藤 仁哉
 大崎 淳正 福西 勝
 坂口 美佳 北野 紀子

川西市一般職の職員の給与に関する 条例等の一部を改正する条例の制定 について

本案は、令和7年8月の人事院における国家公務員給与改定勧告およびこれに対する国の措置等ならびに令和7年11月の川西市特別職報酬等審議会の答申への対応等を行うため、一般職の職員、特別職に属する常勤の職員、市議会議員、会計年度任用職員、一般職の任期付職員、特

別職の職員で非常勤のものとの給与等を改定するものである。

修正案 令和7年12月および8年6月に支給する市議会議員の期末手当および、8年4月1日から10月27日までの議員報酬ならびに、8年4月1日から10月27日までの議員の中から選任された監査委員の報酬の引き上げを凍結するため、関連する条項を追加する。

修正案に賛成し原案に反対する意見

本市の財政状況を踏まえると、議員が自らの報酬引き上げを優先することは適切ではなく、当該審議会からの答申によると、本市の議員報酬は高過ぎるといった意見もあり、積極的に増額を進める趣旨ではないと考え、修正案により議員の期末手当等を令和8年10月の改選まで現行と同額にすることにより、当該審議会の趣旨を尊重しつつ、市民の理解を得られる水準に調整することが可能であると考えることから、修正案に賛成し、原案には反対する。

修正案に反対し原案に賛成する意見

市長をはじめとする特別職の給料等の引き上げを令和8年10月27日まで凍結することから、議員の報酬等においても同様とする修正案であると認識しているが、川西市議会基本

条例では、議員報酬については当該審議会の答申およびその他の事情を考慮し定めるものと規定されており、修正案の内容は同条例の規定をほごする点に疑問があることから、修正案に反対し、原案に賛成する。

令和7年度川西市一般会計補正予算 (第5回)



更新前のJアラートの受信機 (青色の部分)

における音声聞き取りにくいとの声が寄せられていることから、市の対応を伺いたい。

答弁 今回は当該システムにおける受信機の更新となっており、防災無線のスピーカー更新の際には、改めて検証が必要であると考えている。

反対意見 本補正予算においては、先に可決された「議案第56号 川西市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について」の議員の期末手当の引き上げの内容が含まれており、物価高騰になお苦しむ市民感覚と乖離すると考えることから反対する。

川西市市民活動センター及び川西市男女共同参画センターの指定管理者の指定について

本案は、川西市市民活動センターおよび川西市男女共同参画センターの指定管理者を指定するにつき、地方自治法の規定により、議会の議決を求めるものである。

質問 川西市市民活動センターおよび川西市男女共同参画センターにおける現在の指定管理期間は3年となっているが、5年に変更する理由を伺いたい。また、現指定管

質問 災害対策事業において、全国瞬時警報システム(Jアラート)の受信機更新などに伴う業務委託料として275万円を追加している点について、市民からは防災無線

理者選定时からの審査項目等の変更点について伺いたい。

答弁 両センターにおける指定管理期間については、令和3年度の事業再検証を契機に、施設の設置目的を踏まえた上で貸館業務の近隣施設との集約可能性を検討するとしていたことから3年となっていたが、今回は前回までの公募と同様に5年に戻したものである。

答弁 各審査項目における配点は、選定委員会の委員からの意見も踏まえて決定している。主な変更点は、総合評価点に占める価格点の割合を2割程度から3割に引き上げ、価格において競争性を働かせる仕組みにしたことや、業務運営計画については、市が求める水準や重視する事業の具体的な提案がなされているかを評価の視点として配点を大きくしている。また、運営の取組方針では、川西市市民活動センターおよび男女共同参画センターが併設館であることで生じる相乗効果の視点も採点に入れ、配点を引き上げている。一方で、施設の管理運営に応募した理由や安定的な管理のための人材育成など、点差が出にくいと思われる項目は配点を引き下げている。

反対意見 両センターにおける現在の指定管理者は、16年という長きにわたって指定管理の経験を積んでいる点が重要であると考えられる。また、施設利用者からも満足を得られていることから、今回の審査に当たっては合計得点の点差が僅差であったことを踏まえ、市民ニーズに配慮するためには定性的な視点を重視すべきであると考えられることから、反対の立場である。

厚生文教常任委員会

委員（委員長）◎ 副委員長◎

- ◎田中 麻未
- ◎川北 将
- 加茂 文子
- 山崎 孝弘
- 大矢根秀明
- 黒田 美智
- 角田 楨司
- 秋田 修一

川西市久代児童センターの指定管理者の指定について

本案は、川西市久代児童センターの指定管理者を指定するにつき、地方自治法第244条の2第6項の規定により、議会の議決を求めているものである。

質問

川西市久代児童センターは、児童に健全な遊びを提供し、体力の増進や情操を豊かにすることを目的として昭和61年に設置され、その役割を十分に果たしていると認

識しているが、当該施設の今後の在り方の検討状況について伺いたい。



川西市久代児童センター

答弁

当該施設については、同じ建物内に併設されていた久代老人福祉センターの廃止を受け、暫定的に全館を児童センターとして利用している。今後、指定管理期間の2年間を通じて、施設の在り方を検討するとともに、現在担っている就学前の親子の集う場や小学生の放課後の居場所、中学生の学習の場といった機能と、放課後キッズプレイス事業や公民館の活用状況等を踏まえて、求められる機能の充実を検討

していきたいと考えている。
賛成意見 当該施設は、昭和61年に設立された歴史のある施設であり、指定管理を行うに当たっては、財政的な支援が必要となる可能性が考えられる。また、現在適切に配置されている職員については、その配置を継続するとともに、今後の事業展開に関しては、市と指定管理者が協議した上で進めていくことを求め、本案に賛成する。

川西市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

本案は、児童福祉法において乳児等通園支援事業が市町村の認可事業として位置付けられ、令和8年度から子ども・子育て支援法に基づく新たな給付事業として全国の自治体において実施することとされたことから、認可に当たり設備および運営に関する基準を定める必要があるため条例を制定するものである。

質問

国の法改正を受けて、本市に

おいても令和8年4月から子ども誰でも通園制度を始めようとしているが、市内の民間、公立の就学前教育保育施設について、市としてどのような方針で制度を進めるのか

伺いたい。

答弁 本制度の円滑な導入に向けて、市立はもとより民間園の事業者とも協力しながら進めていく予定であり、令和6年度から民間施設および公立園に情報提供を行い、民間施設については7年度にアンケートや個別ヒアリングも実施している。また、公立園では園所長会で実施体制も検討してきたところである。本議案可決後は、速やかに民間施設には認可申請を依頼するとともに、市立認定こども園4施設を含め、8年4月からの制度運用開始を目指し調整を進めているところである。

反対意見 こども誰でも通園制度は、法律で定められた制度であるが、余裕活用型のように施設の空き定員枠を活用して実施することは理解に苦しむ。また、現在保育施設で実施している慣らし保育の期間についても考慮されていない点が懸念される。

さらに、本制度により配置される専従職員が、保育士資格を有する職員と資格を持たない職員が混在することにより、これまで築かれてきた保育制度が後退していくものと危惧している。加えて、国が定めた制度

ではあるものの、詳細な内容が未確定な部分も見受けられることから、賛成することはできない。

反対意見 国が定めた制度を市が拒否することはできないことは承知しているが、制度自体に多くの懸念が残っていることから、本議案には反対する。

令和7年度川西市一般会計補正予算(第6回)

質問 物価高対応子育て応援手当の支給について、配布資料によると、0歳から高校3年生までを対象とし、児童手当の登録口座に振り込むとされているが、離婚やDVなど個別の事情への対応について伺いたい。

答弁 児童手当の認定状況に基づき支給することとしている。

建設常任委員会

委員 (委員長 〓〓 副委員長 〓〓)

- ◎斯波 康晴
- ◎内山 裕介
- 岡田龍太郎
- 長田 拓也
- 平岡 謙
- 西山 博大
- 岡 留美
- 吉岡 健次

令和7年度川西市一般会計補正予算(第5回)

質問 本件は、南花屋敷2丁目において市が借地して設置していた南花屋敷2児童遊園地について、土地所有者からの契約解除申出により、原状回復に要する費用として950万円を計上されているが、契約解除に至った経緯について確認したい。

答弁 本件土地は、昭和48年から無償で借地していた土地であり、毎年の更新は契約当事者からの申し出がない限り自動更新という内容であった。しかし、このたび土地所有者の方から契約解除の申し出があったことおよび契約解除の際の返還の際には原状回復して返還するという契約内容になっていたことから、今回の補正に至ったものである。

令和7年度川西市水道事業会計補正予算(第1回)

質問 配水池機械警備業務委託に関して、令和8年度から13年度までを期間とし、限度額を2046万円とする債務負担行為が設定されていることについて、同様の業務委託が既に3年度から8年度まで設定されているものと認識しているが、期間が重複していないかを確認したい。また、今回の限度額と前回の限

度額を比較すると、物価高騰の状況下にもかかわらず限度額が減少している理由について伺いたい。

答弁 今回の委託期間は、8年6月1日から13年5月31日までの5年間となっており、前回は3年6月1日から8年5月31日までの5年間であり、両期間は重複していない。また、限度額が減少している理由は、施設の統廃合および舎羅林山加圧ポンプ場の新設により、対象施設が前回の23施設から今回は22施設に減ったことによるものである。



舎羅林山加圧ポンプ場

審議結果等一覧

第5回川西市議会(12月定例会)

※網掛けされた議案は賛否が分かれたものを示す

議案番号	議案名	内 容	審議結果等	付託委員会
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦について	人権擁護委員の任期満了に伴い、後藤善史氏を推薦する	同 意 (全員賛成)	—
議案第56号	川西市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	令和7年8月の人事院の国家公務員給与改定勧告および、これに対する国の措置等および令和7年度の川西市特別職報酬等審議会の答申への対応等を行うため、条例等の一部を改正する	原案可決 (賛成多数)	総務生活
議案第57号	川西市市民活動センター及び川西市男女共同参画センターの指定管理者の指定について	川西市市民活動センターおよび川西市男女共同参画センターの指定管理者を指定する	//	//
議案第58号	川西市コミュニティセンター川西会館の指定管理者の指定について	川西市コミュニティセンター川西会館の指定管理者を指定するにつき、議会の議決を求める	原案可決 (全員賛成)	//
議案第59号	川西市市民体育館等整備に伴うPFI事業に係る事業契約の変更について	川西市市民体育館等整備に伴うPFI事業に係る変更事業契約を締結する	//	//
議案第60号	川西市低炭素型複合施設整備に伴うPFI事業に係る事業契約の変更について	川西市低炭素型複合施設整備に伴うPFI事業に係る変更事業契約を締結する	//	//
議案第61号	訴えの提起について	みつなかホールで発生した水損事故に関する訴訟を提起する	//	//
議案第62号	猪名川上流広域ごみ処理施設組合規約の一部を変更する協議について	国崎クリーンセンター基幹的設備改良事業および包括管理運営業務に伴い、議会の議決を求める	//	//
議案第63号	川西市久代児童センターの指定管理者の指定について	川西市久代児童センターの指定管理者を指定する	//	厚生文教
議案第64号	川西市立小中学校及び幼稚園等空調設備整備PFI事業に係る事業契約の変更について	川西市立小中学校および幼稚園等空調設備整備PFI事業に係る事業契約を変更する	//	//
議案第65号	(仮称)川西市中学校給食センター整備・運営PFI事業に係る事業契約の変更について	(仮称)川西市中学校給食センター整備・運営PFI事業に係る事業契約を変更する	//	//
議案第66号	町の区域の変更について	川西市内における宅地造成に伴い町の区域を変更する	//	建設
議案第67号	使用料及び手数料の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	使用料および手数料の見直しを令和9年度に行い、規律ある財政運営に資するため、条例の付則を改正する	//	総務生活
議案第68号	川西市事務分掌条例の一部を改正する条例の制定について	市における行政課題に柔軟かつ効果的に対応するため、行政組織の再編整備を行う	//	//
議案第69号	川西市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	国家公務員等の旅費に関する法律の一部を改正する法律の制定に伴い、社会情勢の変化に対応するとともに、国家公務員等の取り扱いに準じた改正を行う	//	//
議案第70号	川西市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市内のごみステーションや地域で実施される集団回収から、缶や不燃ごみの金属類等の資源物を持ち去る行為の防止およびその他の規定の整理をする	//	//
議案第71号	川西市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	林野火災注意報および林野火災警報発令の規定の追加など	//	//
議案第72号	川西市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	児童福祉法において乳児等通園支援事業が市町村の認可事業として位置付けられ、令和8年度から子ども・子育て支援法に基づく新たな給付事業として全国の自治体において実施することとされたことから、認可に当たり設備および運営に関する基準を定める	原案可決 (賛成多数)	厚生文教
議案第73号	令和7年度川西市一般会計補正予算(第5回)	人事院勧告や人事配置等に伴う人件費予算のほか、国の動向および今後の事業進捗等への対応、過年度国庫補助金の返還のための補正、繰越明許費の補正、債務負担行為の補正、地方債の補正	//	総務生活 厚生文教 建設
議案第74号	令和7年度川西市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1回)	令和6年度国民健康保険交付金の精算に伴う返還および人事院勧告や人事配置等に伴う人件費予算の補正、債務負担行為の補正	原案可決 (全員賛成)	厚生文教
議案第75号	令和7年度川西市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1回)	人事院勧告や人事配置等に伴う人件費予算の補正、債務負担行為の補正	//	//
議案第76号	令和7年度川西市介護保険事業特別会計補正予算(第2回)	介護保険料の還付金および人事院勧告や人事配置等に伴う人件費予算の補正	//	//
議案第77号	令和7年度川西市水道事業会計補正予算(第1回)	職員給与費の補正、浄水処理に係る薬品購入等の債務負担行為の補正	//	建設
議案第78号	令和7年度川西市下水道事業会計補正予算(第2回)	汚水水質分析業務委託等の債務負担行為の補正	//	//

議案番号	議案名	内 容	審議結果等	付託委員会
議案第79号	令和7年度川西市病院事業会計補正予算（第1回）	旧市立川西市病院の土地移管による補正	原案可決 (全員賛成)	厚生文教
議案第80号	令和7年度川西市一般会計補正予算（第6回）	物価高騰対策事業に係る補正、物価高対応子育て応援手当支給事業に係る補正、繰越明許費の補正	//	総務生活 厚生文教
請願第5号	物価上昇を上回る年金の引き上げを求める請願	若者も高齢者も安心して老後を暮らせるように、物価上昇を上回る老齢基礎年金等の支給額を改善することを請願する	不採択 (賛成少数)	厚生文教
議員提出議案第1号	川西市監査委員条例の一部を改正する条例の制定について	議員のうちから選任する監査委員を廃止する	原案可決 (賛成多数)	—
議員提出議案第2号	川西市議会基本条例の一部を改正する条例の制定について	次の一般選挙から議員定数を24人から22人に改める	原案否決 (賛成少数)	—

賛否の状況

※賛否が分かれたもののみ掲載

賛成：○ 反対：×

議員名	公明党					川西まほろば会					連合かわにし市民の会				日本維新の会 川西市議団				日本共産党 議員団			市民 ファースト かわにし		無所属
	平岡 讓	山崎 孝弘	榮 奈津子	大崎 淳正	大矢根 秀明	秋田 修一	松隈 紀文	岡田 龍太郎	加藤 仁哉	西山 博大	中井 成郷	福西 勝	川北 将	岡 留美	田中 麻未	内山 裕介	角田 慎司	坂口 美佳	黒田 美智	吉岡 健次	北野 紀子	斯波 康晴	加茂 文子	
議案名	議案第56号(修正案)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	議案第56号(原案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
	議案第57号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○
	議案第72号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○
	議案第73号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
	請願第5号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×
	議員提出議案第1号	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
	議員提出議案第2号	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○

※地方自治法の規定により、大矢根秀明議長は議員として議決に加わる権利を有していません。(ただし、可否同数のときは議長の決するところによる)

Kawanishi City council

みんなの市議会 No.92

議決機関と執行機関



このコーナーでは、市議会の機能や役割などを紹介するとともに、1年間にわたる議会の活動状況を不定期にお知らせしています。

今回は、市民を代表する議員で構成する議会、すなわち「議決機関」と、市長をはじめとして日々の行政運営にあたる「執行機関」との関係について紹介したいと思います。

わが国の地方自治制度では、議会を構成する議員と執行機関の長がともに住民の直接選挙によって選ばれる「首長制」を採用しており、議会と長との関係には、次のような特質があると考えられています。

① 独立対等の関係

議会と長（市長）は、互いに独立対等の立場にあり、明確な権限と責任の分担によって地方公共団体の運営にあたっています。この点で、「議院内閣制」を採用している国で、国会が国権の最高機関であることは異なります。

② 議会の権限外の意思決定

議会は、地方公共団体の全ての意思決定を行うのではなく、法令の規定による議会の権限以外の意思決定や行政の執行等は、執行機関の権限に属しています。

③ 条例の制定と規則の制定

議会には、地方公共団体が事務の処理をするにあたって定める「条例」を制定する権限があり、また、長にはその権限に属する事項について規定する「規則」を制定する権限があります。

④ 長の執行権と議会の監視権

長には、行政の執行に関して広範な権限が認められている反面、議会には、長の行政執行に対する監視権などが認められており、行政運営の適正化が図られています。

⑤ 議会の不信任議決と長の解散権

対等な関係にある議会と長が対立した場合、地方自治法において、議会には、長に対する不信任議決が、また、長には、議会の解散権が与えられており、双方に對立関係を調整する手段が用意されています。

このように、「議決機関」である議会と、「執行機関」の長である市長には、相互のけん制と均衡を通して民主的かつ効率的に適正な行政運営を行うことが求められています。

一般質問

※見出しの下のQRコードを携帯電話等で読み込むと、各議員の発言の様子をご視聴いただけます。

市民活動

「地域人材マッチング事業」
今後の事業展開の方針は



公明党 大崎 淳正

質問 令和5年6月から市民活動センターにおいて、地域で活動したい市民と活動してほしい地域団体を結びつけるため、地域人材マッチング事業を実施しているが、今後の事業展開の方針を伺いたい。

答弁

当該事業では幅広い分野の人材発掘と外国籍市民を含めた登録者の増加に努めるとともに、地域団体への積極的なアウトリーチを通じて周知を図ることにより事業の

認知度を向上させ、有効的なマッチングの増加につなげていきたい。
その他の質問項目

○多文化共生施策の取り組みについて
ほか



川西市市民活動センター

教育

就学前教育保育施設
今後の拠点の在り方は



市民ファーストかわにし 加茂 文字

質問 就学前教育保育施設の廃止や民間委託について、子どもの利益や保育の質、働く保護者への支援を踏まえ、地域の意見を十分反映すべきと考えるが、当事者の理解が得られない状況で計画が進んでいる点について、市の見解を伺いたい。

就学前教育保育施設の拠点の在り方に関する素案策定後、説明会などで出された意見を真摯に受け止め、良好な教育保育環境を提供するため、幼保一体化と民間委託を基本方針とし決定した。

答弁 就学前教育保育施設の拠点の在り方に関する素案策定後、説明会などで出された意見を真摯に受け止め、良好な教育保育環境を提供するため、幼保一体化と民間委託を基本方針とし決定した。

その他の質問項目

○本市の高齢者外出支援について
ほか

教育

中学校給食において牛乳
選択制を導入する考えは



無所属 長田 拓也

質問 中学校給食における牛乳について、令和6年度の平均で各中学校において約12%から20%程度が廃棄されている点を踏まえ、多様な価値観や廃棄物による環境的負荷の観点から、牛乳選択制の導入に対する市の見解を伺いたい。

答弁

牛乳は給食に必要な栄養量の確保に不可欠な食材と考えているが、残食が多い現状を踏まえ、今後、代替品の提供や牛乳選択制の導入を含めて検討し、対策を図っていく必要があると考えている。

その他の質問項目

○本市の保護者教育・啓発について
ほか

行政一般

本市への移住支援PR
動画を作成する考えは



公明党 山崎 孝弘

質問 本市への移住を検討する方に対して、市内の暮らしを気軽にかつ簡単に理解できる環境整備が必要であると考えている。

そこで、移住支援のPR動画を作成して、市のホームページに掲載することについて、市の考えを伺いたい。

答弁

本市の特色や魅力を動画を通じて発信することは、本市への関心を高め、移住人口の増加につながるが期待されるため、今後、動画を活用するなど、情報発信の強化に取り組んでいきたい。

その他の質問項目

○本市における中学校部活動の社会移行への取り組みについて

福祉

ケアマネジャーと行政との
関係性を問う



川西まほろば会 岡田龍太郎

質問 昨今、ケアマネジャーの役割が増大しているが、担い手は減少傾向にある。そこで、介護難民

の現状やケアマネジャーの労働環境を含め、本市の将来を見据えた上で、ケアマネジャーと行政の関係性について伺いたい。

答弁 ケアマネジャーの役割は大きく、働きやすい環境の整備は重要と認識している。カスタマーハラスメントなどへの対策は、関係機関と協議しながら進め、市との関係強化していきたい。

その他の質問項目
○国・県からの照会業務などの増加について

福祉

介護現場での「香害・化学物質過敏症」市の対応
連合かわにし市民の会 岡 留美

質問 障害者差別解消法の改正により、事業者による障がい者への合理的配慮の提供が義務化されているが、「香害・化学物質過敏症」に関する介護サービス提供者の対応について、市の見解を伺いたい。

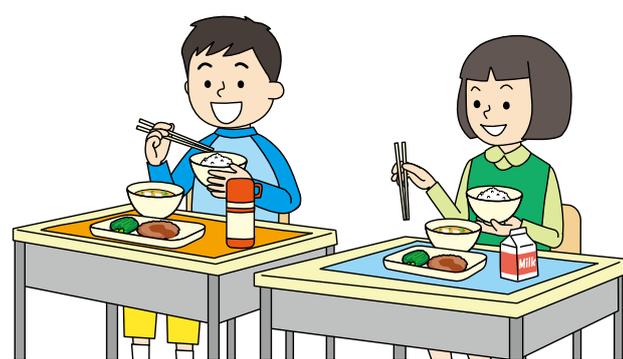
答弁 法改正に基づく合理的配慮の提供に関しては、事業者に周知を図っており、今後も継続していきたい。また、介護現場での「香害・化学物質過敏症」への対応については認知度の向上に取り組むこと

もに、当事者や家族、事業者の相談にも丁寧に対応していきたい。
その他の質問項目
○「高齢者の居場所」について

教育

学校給食における牛乳柔軟な対応を
市民ファーストかわにし 斯波 康晴

質問 学校給食における牛乳について、食物アレルギーや乳糖不耐症等への対応が必要な場合、医師の診断書がなくても、家庭からの申し出による柔軟な対応が必要と考え



答弁 牛乳は給食に必要な栄養量を確保するためには欠かせない食材であるが、牛乳の残食状況を踏まえ、今後、代替品の提供や選択制の導入を含めた検討や研究を進め、対策を図っていききたいと考えている。

その他の質問項目
○能勢電鉄鼓滝駅前周辺の市道7号・49号の道路改良整備について

下水道

下水道管渠の定期的な除草・剪定を計画に盛り込む考えは
日本維新の会川西市議員 内山 裕介

質問 下水道管渠における草木の繁茂は、景観や生活環境への影響にとどまらず、排水機能の低下や管渠損傷のリスクを高めることが指摘されている。市の計画である新下水道ビジョンに定期的な除草・剪定の管理を盛り込む必要があると考えるが、市の見解を伺いたい。

答弁 定期的な開渠溝の草木の除草・剪定については、対応実績を踏まえ必要性を判断していききたい。一方で、新下水道ビジョンへの反映については、この計画が事業の大きな方向性を示す性格を持つため、具体的な管理方法を掲載するこ

とは適切ではないと考えている。

福祉

オーダーメイド支援プランの作成に向けた実態把握
日本共産党議員団 北野 紀子

質問 本市では令和7年度から、親なき後や障がい者が高齢になった場合など、将来を見据えたオーダーメイド支援プランの作成を本格的に実施しているが、入所施設やグループホームの待機状況と家族介護の実態把握について伺いたい。

答弁 待機状況としては、入所調整に時間を要する場合もあるが、長期間の待機はない状況である。また、家族介護については、オーダーメイド支援プランの作成過程で、改めて実態把握に努めていきたい。

その他の質問項目
○訪問型支えあい活動支援事業について

市民活動

「公募型補助金」状況に応じた対応を
川西まほろば会 松隈 紀文

質問 令和8年度から交付される公募型補助金に関して、補助金

額の上限額は10万円、申込受付は年1回と認識しているが、各団体の活動内容や運営状況に応じて上限額の引き上げや、同一年度に複数回の申込期間を設定することについて、市の見解を伺いたい。

答弁 令和4年度から段階的に補助金制度の見直しを行ってきたことにより、公募型補助金への移行を進めたところである。当面の間は、新たな枠組みの下で運用を続ける方針であるが、補助金額の上限については、今後の実績等を踏まえ、定期的に見直す必要があると考えている。

行政一般

カスタマーハラスメント
現状と対応問う



連合かわにし市民の会 中井 成郷

質問 近隣自治体では、カスタマーハラスメント対策基本方針の運用が始まり、その対応に関して明確なルールづくりが進行していると考えますが、本市における現状や対応状況について伺いたい。

答弁 市役所の窓口対応に関するアンケートでは、約6割の職員がカスタマーハラスメントを経験していると回答している。今後、基

本方針を策定し研修を実施するほか、来庁者向けポスターを作成し庁内に掲示するなど対策を進めていきたい。

その他の質問項目

○中小企業振興条例への位置づけについて
ほか

子ども・子育て

ファミリーサポートセンター
事業改善の取り組みは



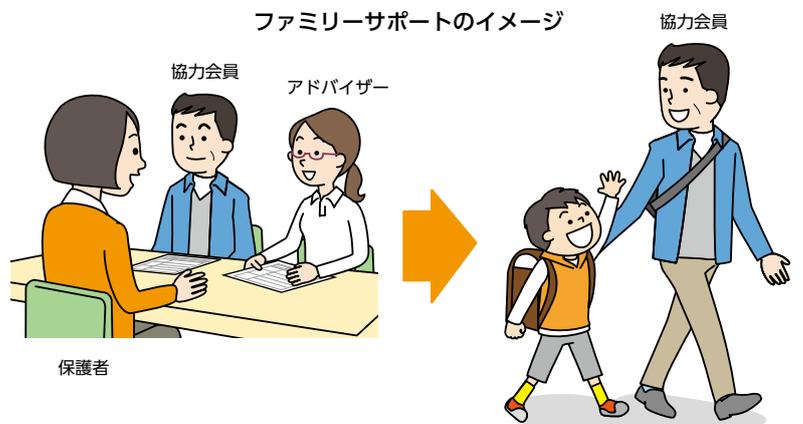
日本維新の会川西市議団 田中 麻未

質問 地域で育児の相互援助活動を行うファミリーサポートセンター事業は、市が社会福祉協議会に委託し実施しているが、本事業では働く親のリアルなニーズを反映する必要があると考える。そこで、市が現状を把握し、事業改善につなげるべきと考えるが、市の見解を伺いたい。

答弁 同センターでは、支援開始前後に、面談や電話を通じて保護者の声を丁寧に取り組みを行っている。また、市ではアンケート調査により、事業の認知度や利用意向の把握に努めている。今後もセンターとの連絡調整会議等を通じ、

実態把握と事業改善に取り組んでいく。

ファミリーサポートのイメージ



環境衛生

廃食油を回収しやすい
仕組みを検討せよ



日本維新の会川西市議団 坂口 美佳

質問 家庭から排出される廃食油について、環境負荷の軽減や資源の有効活用の観点から回収しやすい仕組みづくりの検討が必要と考えるが、市の考えを伺いたい。

答弁 廃食油のリサイクルに関しては、現在、コスト負担や住民

の協力体制の確保、事業者との連携といった課題について、令和8年度を目途に実施に向けた検討を進めているところである。

その他の質問項目

○視覚に障がいがある方や高齢の方、多国籍住民の方も利用できる防災情報提供の仕組みについて

福祉

「聴こえ8030運動」
市の取り組み状況など聞く



日本共産党議員団 黒田 美智

質問 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会が推進する80歳で30デシベルの聴力を保つ国民啓発活動「聴こえ8030運動」について、本市における取り組み状況や、難聴予防および早期発見の啓発に関して伺いたい。

答弁 「聴こえ8030運動」については、国の関連情報を参考にしながら、幅広い世代への周知を検討するとともに、母子健康手帳交付時や乳幼児健診の場を活用し、保護者に対して早期発見と早期治療の重要性を啓発していきたい。

その他の質問項目

○部活動の地域クラブへの移行と生徒の居場所について

一部の質問のみ掲載しています。その他の項目はこちらへ

川西市議会 検索

福祉

認知症の方への「ユマニ チユード」市の考えは



公明党 榮 奈津子

質問

相手の尊厳を守り、「あなたを大切に思っている」というメッセージを伝える「コミュニケーション」技法であるユマニチユードについて、認知症の方への新たなケア技法として取り組むべきと考えるが、市の見解を伺いたい。

答弁

認知症サポーター養成講座を通じてユマニチユードと同様の方法を周知しているが、今後、その効果的な活用方法について、先行事例の研究を踏まえ、普及啓発の在り方を検討していきたい。

その他の質問項目

○病気や障がいのある子どもの「きょうだい児」支援について

行政一般

ふるさと納税の返礼品 事業者支援など問う



川西まほろば会 加藤 仁雄

質問

ふるさと納税については、戦略的な運営が求められる段階にあると認識しているが、返礼品事業の地域経済波及効果と事業者支援

について伺いたい。

答弁

返礼品の登録業者のほとんどが市内事業者であることから、地域経済への波及効果は一定期待できるものと考えている。また、クラウドファンディングの手法を活用した事業者支援をはじめ、新商品開発に係る支援を展開しており、その商品を返礼品として登録している。

その他の質問項目

○新名神高速道路インターチェンジ周辺土地利用計画の取組について

生活安全

増加する熊出没 安全確保に向けた方向性を問う



公明党 平岡 謙

質問

全国的に熊による人的被害が拡大する中、市内の熊の出没状況や被害の現状、安全確保に向けた方向性について伺いたい。

答弁

本市では、令和7年度で熊と関わられる動物の目撃や痕跡報告が13件あり、対策が急務である。通報時は、職員による現地確認および県への報告とともに、かわにし安心ネット等による注意喚起を行っている。今後は広域的な体制の確立に向け県との協議を進めていきたい。

その他の質問項目

行政一般

DXを通じた市民サービス向上の取り組みは



連合かわにし市民の会 川北 将

質問

本市では、デジタルトランスフォーメーション(DX)を通じて、市民サービスの向上や業務改善に取り組んでいると認識しているが、今後のさらなる取り組みについて伺いたい。

DXのイメージ

市役所で申請書を手書き



スマートフォンで申請



パソコンで申請



答弁

令和7年度からの2年間にわたり、手続の簡略化を目的とする「行かない市役所」、「書かない窓口」の取り組みや生成AIを活用した業務改善、紙ベースの申請書類のデジタル化を検討する方針である。また、行政サービスの効率化やデジタル技術を活用した地域活性化の実現に向け、市民、職員のデジタルスキルの把握に努めていきたい。

教育

不登校児童生徒に多様な学びの場の提供を



日本維新の会川西市議員 角田 横司

質問

不登校児童生徒については、フリースクールや夜間中等など多様な学びの場が重要であるが、本市の取り組み状況を伺いたい。

答弁

フリースクールに関しては、学習支援や相談体制の強化など連携を進めているところである。今後、個々の状況に応じて夜間中学に関する情報提供も行うとともに、保護者向けガイドブックを作成するなど、不登校児童生徒を支援する取り組みを行っていきたい。

その他の質問項目

○にぎわう街・自然・歴史を活かした中心市街地の空間づくりについて

受理した陳情

- 要望書 (学校教材備品の計画的な整備推進についてのお願い)
- 2026年度国の予算に向けての意見書提出を求める陳情書
- 臓器移植に関わる不正な臓器取引や移植目的の渡航等を防止し、国民が知らずに犯罪に巻き込まれることを防ぐための環境整備等を求める意見書提出の陳情
- 職員団体の組合費給与天引き (チェックオフ) 手続の適正運用および行政の政治的中立性確保を求める陳情
- 庁舎内における政党機関紙勧誘に伴う「心理的圧力」の調査結果を踏まえ、議員による勧誘禁止の確認と職員を心理的圧力から保護する為の措置を求める陳情

●●●● かわにし市議会からのお知らせ ●●●●

3月定例会が2月17日から始まります

3月定例会では、市長の施政方針に対する総括質問が行われるほか、新年度予算案を審議する予算委員会などが開催される予定です。

また、本会議のほか、議会運営委員会、常任・特別委員会などについては、本会議と併せて開催予定をホームページ等に掲載していますので、傍聴の際の参考にしてください。

また、急きょ会議の開催予定が変更になることがありますので、最新の情報はホームページをご覧ください。

月	日	曜日	時間	内容
2月	17日	(火)	午前10時	本会議 (招集日)
	25日	(水)	午前9時30分	本会議 (総括質問)
	26日	(木)	〃	本会議 (〃)
	27日	(金)	〃	本会議 (一般質問)
3月	2日	(月)	〃	本会議 (〃)
	3日	(火)	午前10時	常任委員会
	4日	(水)	〃	〃
	5日	(木)	〃	〃
	6日	(金)	午前9時30分	予算委員会
	9日	(月)	〃	〃
	10日	(火)	〃	〃
	11日	(水)	〃	〃
	12日	(木)	〃	〃
	25日	(水)	午前10時	本会議 (最終日)

ホームページへようこそ

市議会のホームページには、会議の開催日程や会議録だけでなく、議員の政務活動費の状況なども掲載しています。

また、本会議はライブ配信 (生中継) を行っているほか、現在、12月定例会の様子を録画配信しています。本会議場でのやりとりをご家庭などで見ることができますので、ぜひご利用ください。

会議録について

公開している全ての会議は「会議録」として記録していますので、この市議会だよりに掲載している内容の詳細をご確認いただけます。

会議録は、冊子として市議会事務局や中央図書館、市役所の市政情報コーナーに備えているほか、市議会ホームページにも掲載しています。

なお、会議録の作成には数カ月かかりますので、ご了承ください。



広報委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 川北 文子 |
| 副委員長 | 加茂 紀子 |
| 委員 | 松隈 紀文 |
| | 斯波 康晴 |
| | 榮津子 |
| | 角田 柊司 |
| | 中井 成郷 |
| | 中野 紀子 |

後編 編集集

市議会だよりをお読みいただき、ありがとうございます。暦では立春を迎え、厳しい寒さの中にも少しずつ春の兆しを感じる季節となりました。昨年は第6次総合計画のもと、子育て支援や福祉の充実、防災の強化や物価高騰への対応など、市民生活に直結する取り組みが進められました。また、地域行事や市民活動の広がりも見られ、人々とのつながりの大切さを改めて実感した一年でもありました。

本年の干支は「丙午(ひのえうま)」であり、物事が動き出し、新たな流れが生まれる年といわれています。変化の多い環境にあっても、前向きなエネルギーを生かすことが大切です。

こうした中、広報委員会では、紙面構成や表現の工夫を重ね、より身近に感じていただける市議会だよりを目指して検討を続けていきます。

これからも市民の皆さまの声を大切にしながら、分かりやすく親しみやすい市議会だよりをお届けしてまいります。次号もぜひ手に取っていただければ幸いです。